



2月、最新技術を活用したPCR検査機の説明を受ける



1月、各省庁からヒヤリング

新型コロナウイルス感染症 対策本部 ～早期収束へ向け～

1月中旬に国内で新型コロナウイルス感染者が確認され、公明党は対策本部を設置。各省庁や各団体、企業等から現状をお聞きし、早期収束に向けて対策を検討。安江も現場に足を運び、観光地や介護福祉施設にもたらす影響を聞き取りました。



名古屋市緑区「有松」



介護福祉施設にて



のぶお
ホームページ
こちらから



のぶお
Twitter
こちらから

小さな声を、聴く力

愛知県は国のモデル地域に選定され官民一体で就職氷河期世代支援プラットフォームを設置。

「ヤング・ジョブ・あいち」を視察。全国に先駆けての取り組みについて、視察しました。



(1月、名古屋市中区にて)

「防災・減災、国土強靱化のための3年緊急対策」に指定された碧南市の河川を視察。

対策が必要な地域はまだあります。命を守る地域づくり、しっかり取り組んで参ります。



(1月、碧南市にて)

インターネットによる犯罪被害から子どもを守る「実践！みんなのネットモラル塾 ～正しい知識を身につけよう～」

講師派遣型の講座を視察。家族でネットモラルを学ぶ重要性を痛感しました。県と連携して子どもを守る環境整備をさらに進めて参ります。



(1月、小牧市にて)



移動中、
母校の半田高校
の前で一枚。



ごあいさつ

皆様 いつも大変お世話になっております。昨年7月の初当選から早くも9ヶ月以上が経ちました。「令和」という新しい時代の最初の通常国会が1月にスタートした矢先に、現下の新型コロナウイルス感染症による戦後未曾有の難局を迎えることとなりました。しかし、こうした困難な状況だからこそ、「政治の責任」、すなわち「民衆の暮らしと生業を守る」という使命を果たさねばと決意しています。私自身が、皆様の負託に応えるべく引き続き全力で奔走して参りますので、どうかご指導賜りますよう宜しくお願いいたします。

プロフィール

1987年6月生まれ、32歳。
名古屋市北区出身。知多市在住。
愛知県立半田高校、創価大学卒。同法科大学院修了。
2014年12月、弁護士登録。防災士。
公明党学生局長・青年委員会副委員長・愛知県本部副代表。



参議院議員 安江伸夫 安江のぶおNEWS Vol. 4

2020年4月発行：安江のぶお後援会

学生への支援措置を！ 参議院予算委員会で初質問

「新型コロナウイルスの影響で家計が急変し、進学、就学の継続が困難な状況に陥りつつある若者が多数いる」として、奨学金等支援による救済を求めました。



3/23 予算委員会

萩生田文科相は、4月からの高等教育無償化で、新型コロナウイルスによる家計の急変にも対応すると答弁。私立の高校生に対する支援も行うと述べられ、3/26文科省より、新型コロナウイルスの影響で家計が急変した学生等への支援措置の周知の通知が発出されました。



党部会・青年委員会
文科相に申し入れ

4/20文科相に対して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学生等に対する支援強化の申し入れを行いました。学費等の猶予や免除、減免措置の更なる徹底や、成績要件や審査の柔軟な対応を大学に要請するよう提案。また、通信料負担軽減、通信設備整備の支援、大学院生や研究に対する支援などを訴えました。

文科省は、直ちに経済的支援の新たな通知を発出するなど、きめ細やかに対応を開始しています。

新経済対策 早期実施へ！ 現金10万円の給付を

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた経済対策で、1人当たり10万円の一律給付を実施する支援策が閣議決定しました。生活支援の柱として、日本全体が一丸となり、国難を乗り越えようというメッセージも込められています。緊急事態宣言後の国民生活の急変に政治が機敏に反応しなければならないという強い危機感から、公明党が訴えてきました。

法務委員会 ～人権を守り抜く～

今国会も法務委員会で、さまざま質問させていただいております。人権教育の推進、ジェンダーギャップの解消、再犯防止、SDGsの推進など。人間主義の国づくりを目指して、一つ一つの課題に丁寧に取り組んで参ります。



公明党青年委員会 若者の声をカタチに！

全国で開催される公明党議員と若者による懇談会「ユーストーク・ミーティング」や学生懇談会「Qカレ」などで伺った声を政府に届けるため、青年委員会所属議員で検討会を重ね、新しい青年政策の5月中取りまとめに向け奮闘しています！



検討会の様子



KOMEI
YOUTH
WEB



愛知県内



東京都内

「ものづくり補助金」とは？
中小企業・小規模事業者等が、新製品開発のための製造機械の購入や作業効率を上げる最新の加工機等、システム構築の費用などを補助金として国が支援するもの



候補者時代、浜田参議院議員とともに
中小企業庁の担当者に要望書を手渡す

中小企業の皆さまに
朗報です！！

ものづくり補助金 さらに使いやすくなりました

候補者時代に、皆さまから「6月から12月の実施期間では窮屈で利用できない」とのお声を関係省庁に直談判。3月中の採択の追加を実現！

「ものづくり補助金」が劇的変化！ 10のポイント

01 通年で公募 3ヶ月おきに締切	02 事業実施期間が 倍増 5 months 10 months 5ヶ月-10ヶ月	03 必要な添付書類が 半分に 最大16点（必須6点） 最大5点（必須3点）	04 公募要領の厚みが 4分の1に 86ページ-21ページ	05 あらゆる手続きが 100%電子化 70以上の補助金が共通 システム上で手続き可
06 対象経費を明確化 中古設備、副業従業人料 を活用しやすく	07 賃上げ要件の追加 付加価値向上の成果を 従業員に還元	08 ルーキー優遇 過去に交付決定を 受けた者を減点	09 新型コロナウイルス 対応の特別枠を創設 補助率UP・経費拡充 ・事前着手・要件緩和	10 収益納付を免除 十分な賃上げをした場合 等は収益納付を免除

出典：ものづくり補助金事務局

加えて、複数年採択が可能となるような制度設計の実現を目指し、今回、新たに中小企業に対し継続的な支援が可能になりました。これにより、中長期的な目線に立って事業計画を策定することができるようになります。皆さまの声が大きく実現いたしました！